

価値あるシステムを“創造”するための技術支援情報誌

「システム開発 magazine」

+ マイコミジャーナル

創刊のお知らせ

株式会社毎日コミュニケーションズ

出版事業本部 開発系メディア編集課

■新媒體のコンセプト

・ユーザー企業と開発ベンダー双方が良好な関係を構築できるようなコンテンツを提供し、IT 業界全体を盛り上げる役割を担います。

「システム開発 magazine」というストレートな誌名には、マイコミがこのジャンルに本気で取り組むという意味も込められています。

・オフショア開発が普及し、実装工程を中心に作業の多くが海外に委託されるケースも増えていますが、そのような中で“価値ある”システムを創造できる“付加価値の高い”人材を育てるためのコンテンツを展開することで、日本国内の IT 産業底上げを媒体としてサポートします。

・Web 媒体「マイコミジャーナル」との連動を前提とした、雑誌＋Web のクロスメディア・プラットフォームによる効果的なコンテンツの展開を視野に入れます。

■新媒體のターゲット(読者層)

【システムの受注側】

開発ベンダー:システム開発の現場で上流工程を担当。プロジェクト全体を俯瞰し、納入するハードウェアや、開発工程で使用するツールなどの導入提案・選定権を持つ IT プロフェッショナル。システムインテグレータ(SIer)もここに含まれます。

【システムの発注側】

ユーザー企業の経営層(CIO など)、情報システム部門の管理職:自社の開発案件の仕様策定から予算の管理を任せられ、ベンダーからの提案内容や見積りを検討し、導入するハードウェアやツールなどについて決定権を持つユーザー企業の IT プロフェッショナル。

■新媒體の主なコンテンツ

システム開発を成功させるためのノウハウや、SOA、仮想化、SaaS といった技術トレンド、導入事例などのコンテンツを中心に展開します。

また、ユーザー企業、ベンダーに関わらず、多くの企業が抱えている「組織やプロジェクトを俯瞰できる人材不足」の課題は、本媒体が取り組む大きなテーマの一つです。

なお、企業では女性技術者の数が増えつつある状況ですが(※)、この層をサポートする媒体はほとんどないのが実情です。本媒体では、女性技術者を支援するコンテンツも盛り込むことで、競合他誌との差別化を図ります。

その他に組込みソフトウェアの技術者ニーズの高まりも意識し、マイコミジャーナルとの連動によって媒体として組込み産業を盛り上げるための施策を用意することも視野に入れます。

※参考資料： 男女共同参画白書（平成 19 年版）

<http://www.gender.go.jp/whitepaper/h19/zentai/danjyo/html/honpen/index.html>

該当資料「職業別就業者構成比の推移」（左側の「専門的・技術的職業従事者」に着目）

http://www.gender.go.jp/whitepaper/h19/zentai/danjyo/html/zuhyo/fig01_02_03.html

■創刊号の特集コンテンツ

特集1 『プロ』を育てる!!』

媒体のコンセプトを具現化する意味も込めて、IT 業界が抱える「人材育成」の問題に取り組めます。ここでの「プロ」とは、受注側（SIer や開発ベンダー）の「IT プロフェッショナル」だけを指すわけではありません。

ユーザー企業の CIO も、情報システム部門の管理者、もしくは業務部門の責任者も、プロジェクトを任された以上は、案件をベンダーに“丸投げ”してはいけないはず。今はユーザー企業側にもエキスパートが求められています。意識レベルでベンダーと価値やノウハウを共有し、真の意味で対等に渡り合わなければなりません。自らがシステムのグランドデザインを担うことで「全体最適」を実現し、プロジェクトを成功に導くための方法論を探っていきます。

特集2 「オフショア開発最新事情」

1990年代頃からソフトウェア開発作業の海外委託が行われてきましたが、いまや大手ベンダーでオフショア開発を導入していないところはないとも言える状況です。ただ、これは主に大規模案件を中心とした話。今後は、中小規模のシステム開発案件でもオフショア開発の導入が進むものと思われます。本特集では中国、インド、そして「これから」が期待されるベトナムやフィリピンなど、国ごとのコストやスキル面などの最新事情を踏まえ、今後プロジェクトにオフショア開発を導入する際に注意すべき点を先駆者や専門家が解説します。

※上記特集や連載のタイトル、内容等は変更になる可能性があります。

- 判型 B5 (天地 182mm×257mm)
- 体裁 無線平綴じ 左開き
- ページ数/148 ページ (表周り 4C4P、本文 4C16P、1C128P)
- 定価 1,580 円 (税込み 1,659 円) 予定
- 発行部数 : 30,000 部
- 発刊予定時期 2007 年 11 月 29 日、隔月刊行予定
- 広告料金

スペース	料金	サイズ(天地×左右)
表2見開き	¥1,400,000	257×364mm
第2表2見開き	¥1,320,000	257×364mm
目次対向	¥660,000	257×182mm
4C1P	¥600,000	257×182mm
4C1/3P	¥300,000	70×160mm
1C1P	¥300,000	257×182mm
1C1/2P	¥200,000	105×160mm
表 3	¥600,000	257×182mm
表 4	¥900,000	208×182mm

●進行スケジュール

<創刊号 11/29 発売>

申し込み〆 10/17 (水)

データ〆 10/19 (金)

フィルム〆 11/2 (金)